

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年3月21日 (2013.3.21)

【公開番号】特開2011-159239(P2011-159239A)
 【公開日】平成23年8月18日 (2011.8.18)
 【年通号数】公開・登録公報2011-033
 【出願番号】特願2010-22523(P2010-22523)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 12/16 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 4 2 M

G 0 6 F 12/16 3 1 0 P

【手続補正書】
 【提出日】平成25年1月31日 (2013.1.31)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対して、データと、前記データを含むファイルを所定のファイルシステムに従って管理するためのファイルシステム情報とを記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新することにより、前記記録媒体からファイルを削除する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記記録媒体における代替ブロックの残量に基づき、前記代替ブロックの残量が閾値よりも大きい場合に、前記記録手段による前記記録媒体に対する前記データの記録を禁止して前記記録媒体に記録されたファイルの削除を可能とすることを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対して、データと、前記データを含むファイルを所定のファイルシステムに従って管理するためのファイルシステム情報とを記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新することにより、前記記録媒体に記録されたファイルのファイル名を変更する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記記録媒体における代替ブロックの残量に基づき、前記代替ブロックの残量が閾値よりも大きい場合に、前記記録手段による前記記録媒体に対する前記データの記録を禁止して前記記録媒体に記録されたファイルのファイル名の変更を可能とすることを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対して、データと、前記データを含むファイルを所定のファイルシステムに従って管理するためのファイルシステム情報とを記録する記録手段と、

記録停止の指示に応じて、記録中のデータの記録を停止して前記記録中のデータを含むファイルをクローズすると共に、前記前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新するように前記記録手段を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記記録媒体における代替ブロックの残量に基づき、前記代替ブロックの残量が閾値よりも大きい場合に、前記記録手段による前記記録媒体に対する前記データの記録を禁止して前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報の更新を可能とすることを特徴とする記録装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新するために必要なデータ量に基づいて前記閾値を決めることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記記録媒体からファイルを削除したことに応じて前記代替ブロックの残量を検出し、検出された代替ブロックの残量が前記閾値以下である場合、前記記録媒体から更にファイルを削除することを禁止することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記データは、動画データまたは音声データであることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対してデータを記録する記録装置の制御方法であって、

記録手段が、前記記録媒体に対して、データと、前記データを含むファイルを所定のファイルシステムに従って管理するためのファイルシステム情報とを記録する記録工程と、

制御手段が、前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新することにより、前記記録媒体からファイルを削除する制御工程とを有し、

前記制御工程では、前記記録媒体における代替ブロックの残量に基づき、前記代替ブロックの残量が閾値よりも大きい場合に、前記記録工程による前記記録媒体に対する前記データの記録を禁止して前記記録媒体に記録されたファイルの削除を可能とすることを特徴とする記録装置の制御方法。

【請求項 8】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対してデータを記録する記録装置の制御方法であって、

記録手段が、前記記録媒体に対して、データと、前記データを含むファイルを所定のファイルシステムに従って管理するためのファイルシステム情報とを記録する記録工程と、

制御手段が、前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新することにより、前記記録媒体に記録されたファイルのファイル名を変更する制御工程とを有し、

前記制御工程では、前記記録媒体における代替ブロックの残量に基づき、前記代替ブロックの残量が閾値よりも大きい場合に、前記記録工程による前記記録媒体に対する前記データの記録を禁止して前記記録媒体に記録されたファイルのファイル名の変更を可能とすることを特徴とする記録装置の制御方法。

【請求項 9】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対してデータを記録する記録装置の制御方法であって、

記録手段が、前記記録媒体に対して、データと、前記データを含むファイルを所定のファイルシステムに従って管理するためのファイルシステム情報とを記録する記録工程と、

制御手段が、記録停止の指示に応じて、記録中のデータの記録を停止して前記記録中のデータを含むファイルをクローズすると共に、前記前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新するように前記記録工程を制御する制御工程とを備え、

前記制御工程では、前記記録媒体における代替ブロックの残量に基づき、前記代替ブロックの残量が閾値よりも大きい場合に、前記記録工程による前記記録媒体に対する前記データの記録を禁止して前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報の更新を可能とすることを特徴とする記録装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記の目的を達成するための本発明の一態様による記録装置は以下の構成を備える。すなわち、

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対して、データと、前記データを含むファイルを所定のファイルシステムに従って管理するためのファイルシステム情報とを記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新することにより、前記記録媒体からファイルを削除する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記記録媒体における代替ブロックの残量に基づき、前記代替ブロックの残量が閾値よりも大きい場合に、前記記録手段による前記記録媒体に対する前記データの記録を禁止して前記記録媒体に記録されたファイルの削除を可能とする。